

冬の室内で栽培する もやし



(1) かき回しながら種子をよく水洗いする



(2) 清潔な瓶に入れひと洗水に漬ける。種子の量は500ccの瓶に小さじ2杯



(3) 口にガーゼを掛けて水を注ぎ、2〜3回水を捨てる



(4) 瓶をアルミホイルで包み遮光。下に向け水を切って立て掛ける。毎日すすぎ洗いする



(5) 暖かい場所に置く1週間ほどで瓶いっぱいになる。半日日光に当て葉を緑に色づける

もやしの語源は「萌(も)やす」にあり、発芽させるという意味です。豆類、穀類の種子を用いる他、ダイコン(かい割れダイコン)や、近年はブロッコリー、カラシナなど幅広く発芽した新芽植物が利用されるようになり、スプラウトと呼ばれるています。「もやし系スプラウト」と「かい割れ系スプラウト」に大別されます。

いずれも基本となる種子は、一般の栽培用(種子消毒されているものが多い)ではなく、スプラウト用と表示し、取り扱われているものを入手することが大切です。カタログなどをよく調べ、早めに準備します。育てる手順とポイントは、(1)種子は良く水洗いする、(2)形が適した清潔な消毒した容器を用いる、(3)水分管理や遮光を正しく入念に行う、などです。

それではまずもやし系スプラウトについて左のイラストで手順を覚えてください。これに向いている種子は、緑豆、大豆、小豆、エンドウ、ブラックマッペなどです。成長したもやしはガーゼを取り、瓶ごと水道の蛇口の下に置き、勢いよく水を流すと種子の皮がきれいに剥がれ落ちます。次にかい割れ系スプラウトですが、これにはかい割れダイコン(白茎、赤茎)、ブロッコリー、マスタード(カラシナ)をはじめ、レッドキャベツ、ルッコラ、タデ、ソバ、ゴマなど、実にたくさんの種類が用いられます。

「JA版農業電子図書館を」つかってみよう!

当JAでは、病害虫や雑草、農業など生産に関する情報が簡単に検索できる、タッチパネル式の情報端末「JA版農業電子図書館」を窓口相談機能の充実と、迅速な指導や最新情報の提供等、組合員サービスの向上を図るため、営農施設に設置しています。

皆様のご利用をお待ちしております。

- * 設置店舗 : 総合営農経済センター
片貝営農センター
千田園芸資材センター



病害虫・雑草診断など簡単に操作できます!!
探したい項目を指でタッチ!!

しっかの開き濃い緑色になったら収穫です。
板木技術士事務所
● 板木利隆